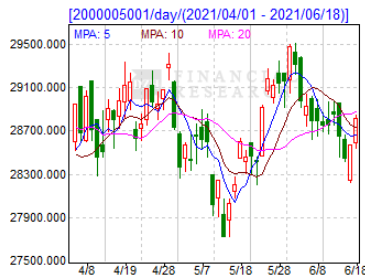




## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	33,290.08	-533.37	-1.58	-3.45	8.77	30,606.48
NASDAQ	14,030.38	-130.97	-0.92	-0.28	8.86	12,888.28
日経225	28,964.08	-54.25	-0.19	0.05	5.54	27,444.17
上海総合	3,525.10	-0.51	-0.01	-1.80	1.50	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,102.47	0.57	0.01	-2.34	-2.09	5,211.29
ハンセン	28,801.27	242.68	0.85	-0.14	5.77	27,231.13
中国企業	10,646.39	56.72	0.54	-0.97	-0.86	10,738.40

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は0.1%安と3週続落、上海総合指数は1.8%安

香港市場は14日が端午節で休場だったため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で0.1%安と小幅に3週続落した。休場明け15-16日はFOMCの結果発表を前に持ち高を調整する売りが優勢。終値で5月24日以来の安値を更新した。人権問題や台湾などを巡る欧米と中国の対立先鋭化も警戒された。17-18日は米長期金利の低下を受けてハイテク株が買われて持ち直す展開となった。本土市場も4日間の取引で上海総合指数は1.8%安と3週続落。3500ポイント割れは回避したが、欧米諸国との関係悪化が警戒された。

### 今週の展望:香港市場は弱含みの展開か、米利上げの前倒し観測の浮上が重しに

香港市場は弱含みの展開か。前週まで3週続落で買い戻しも入りやすいが、米国で22年にも最初の利上げが行われるとの観測が浮上し、金融緩和の長期化期待が後退。先週発表された中国の主要経済指標が軒並み市場予想を下回る弱い内容だったことに加え、中国と欧米諸国との対立が一段と鮮明になるなどマイナス材料も多く、買い進みにくい状況といえる。一方、本土市場はもみ合いか。上海総合指数は節目の3500ポイントが目先の支持線となっており、下値では買い戻しが相場を支えそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 舜宇光学科技 (02382)	228.60	19.44
2 安踏体育用品 (02020)	176.00	11.11
3 吉利汽車 (00175)	24.00	8.84
4 BYD (01211)	232.40	8.40
5 藥明生物技術 (02269)	132.10	5.85
6 中国蒙牛乳業 (02319)	46.80	3.54
7 小米集団 (01810)	28.80	2.31
8 Link REIT (00823)	78.20	1.76
9 テンセント (00700)	603.00	1.17
10 アリババ集団 (09988)	207.00	0.88

### ▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 華潤置地 (01109)	33.70	-7.42
2 中国生物製薬 (01177)	7.73	-6.87
3 石業集団 (01093)	11.62	-6.74
4 碧桂園 (02007)	8.98	-6.36
5 シンベック (00386)	3.97	-6.15
6 バドワイザーAPAC (01876)	24.65	-6.10
7 CNOOC (00883)	8.66	-5.25
8 中国中信 (00267)	8.38	-4.66
9 新世界発展 (00017)	40.25	-4.62
10 中国海外発展 (00688)	18.86	-4.46

## ▼今週の主なイベント

- 6月24日(木)
- 【米国】GDP確定値(1-3月)
- 6月27日(日)
- 【中国】工業企業利益(5月)

### ▼今週の期待材料

- ◆米10年債利回りが先週末に1.44%まで低下、米長期金利の低下はグロース株にとって追い風に
- ◆米大統領補佐官が米中首脳会談の開催に意欲、米中関係の改善に期待が高まる可能性も
- ◆香港の住宅価格指標CCLが3週連続で上昇、19年6月に付けた過去最高値まで3.9ポイント

### ▼今週の懸念材料

- ◆米セントルイス連銀のブラード総裁が22年中の利上げを示唆、米国で早期利上げ観測が浮上
- ◆中国でIT企業への当局の締め付け強化への懸念くすぶる、滴滴出行などを抜き打ちで調査
- ◆中国の5月の主要経済指標が軒並み市場予想を下回る弱い結果に、景気の先行きに警戒感が広がる可能性も

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 太古 A (00019) : 21年6月中間決算の見通しを上方修正、経常損益は黒字確保へ
- ☆ キャセイ・パシフィック (00293) : 21年6月中間決算は赤字縮小の見通し
- ☆ アンガン・スチール (00347) : 21年6月中間決算は純利益48億元の見通し
- ☆ チャイナ・テレコム (00728) : 配当性向の引き上げ方針を発表、3年以内に70%以上
- ☆ ウェイガオ・グループ (01066) : 子会社の山東威高骨科材料を科创板に分離上場
- ☆ 小米集団 (01810) : 618セールスの販売額が90%増の190億元、過去最高を更新
- ☆ 波司登国際 (03998) : 23日に21年3月本決算を発表、市場予想は39%増益
- ☆ JDドットコム (09618) : 618セールスの総取引額が過去最高を更新、前年比で28%増
- ★ 万洲国際 (00288) : 会長の長男を取締役から解任、会社財産に「不当な攻撃」
- ★ 中国平安保険 (02318) : 筆頭株主のタイ財閥チャロン・ボカパンが株式1%を売却

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。